

Q. 公共下水道事業の進捗状況はどうか

A. 計画の30%の地域が供用可能



熊沢直紀議員

公共下水道事業の進捗状況や今後の予定を質問する。

- ①現在どこまでの地区の本管工事が完成しているか。
- ②本管工事完成地区での下水道へ接続された件数は何件か。
- ③各家庭の現場の状況が異なるので、それぞれ工事費の違いがあると思うが、標準的な工事価格はどれくらいか。
- ④公共下水道接続に伴う工事費の融資制度を利用している件数は。

用されている件数は。

- ⑤各家庭引き込み工事費は高額の費用を要するため、3年以内に工事を行えない家庭への対応はどうか。
- ⑥公共下水道工事接続後、浄化槽を雨水貯留施設に転用する者に対しての補助金の件数は。
- ⑦今後の本管工事地区はどのような順序で進めていくのか。

ールが完了している。平成21年度は約16ヘクタールの整備を進め、完了すれば計画の約30%の地域が供用可能となる。

- ②接続件数は、410世帯である。
- ③30万円から70万円。
- ④現在のごとく1件で汲み取り便所は、水洗トイレ設備と給水設備の改築工事等が必要となる。
- ⑤法律では、供用区域内の汲み取り便所は3年以内に水洗化の義務付けを、浄化槽の利用者には遅滞なく接続することを求めている。接続促進を図るため、町では「水洗便所改造等資金融資あっせん及び利子補給制度」を設けている。
- ⑥浄化槽転用雨水貯留施設設置補助金の利用状況は18件である。
- ⑦国道41号西側の青山地区及び高前地区は平成23年度までに整備し、平成24年度以降は、流域下水道幹線に近い区域より整備を進める。



着々と進む下水道工事

Q. 伊勢山交差点に右折信号の設置を

A. 右折信号の設置は困難である



柴田勝明議員

県道名古屋稲沢線と春日井稲沢線が交わる伊勢山交差点の信号機は直進のみである。東西線においてはエポートウォーク名古屋等の繁忙期には、車両が大幅増加している。西から南へ右折すれど、大変な渋滞が生じる。それゆえ、右折待ちの車両が続くために、大きな事故が発生しないかと心配である。是非、矢印「右折」信号機を設置すべきである。

右折矢印信号を設置するには、道路拡幅して右折専用車線を設置する必要があるため、現実的には困難である。また、「右折需要が多く青色信号表示でさば

くことができない場合に、設置対象になるが、西枇杷島警察署は、右折車は一信号でほとんど通過できるため、設置は必要ないと判断している。



県道名古屋稲沢線の豊山小学校より社会教育センターまでの整備工事の進捗状況は、今現在どのようなようになっているのか。

また、計画通り進んでいるのか伺う。

県道名古屋豊山稲沢線(都市計画道路・豊山水分橋線)の整備に向けては機会あるごとに県当局・関係者に要望している。

用地取得の状況は、豊山小学校から社会教育センターまでの間(約500m)の一部を残すのみである。

また、同区間の整備工事については、今年度と来年度の2ヶ年で完成予定であると聞いている。

Q. 県道名古屋豊山稲沢線の整備工事の進捗状況は

A. 整備工事は22年度に完成予定



右折信号が欲しい交差点